



<報告事項>

◇第44回全日本クラブユース選手権(U-18)大会 審判関係報告会

➤ 期日 1月19日(火) 20:00-21:00

➤ 参加者(北海道 敬称略)

伊藤真也強化部長、古曾部統太郎 RAM、村山尚哉指導者部長

➤ 報告事項

- ・ 大会概要 ・ 参加審判員 ・ 割り当て
- ・ 事前勉強会の様子 ・ 審判員への課題「マネジメント」と「コントロール」
- ・ 大会での振り返り（実施方法、「うまくいったこと」「こうしておけばよかった」「ここにきて、新たに気づかされたこと」）
- ・ アセスメントレポートの分類、アドバイスされたこと

◇脳振盪による交代について

⇒脳振盪が起きた選手に対する扱いが、IFABより発信された（地域にも情報共有をする）

⇒国内でどのように扱うかは、**今後、指示がある**

Jリーグでは、実施手順 A

□原則

- 1試合において、各チーム最大1人の「脳振盪による交代」を使うことができる。
- 「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代が行われているにかかわらず、行うことができる。
- 氏名を届け出る交代要員の数が、交代の最大数と同じである競技会においては、既に交代で退いた競技者であっても「脳振盪による交代」に基づき、交代で競技者になることができる。

□進め方

- 交代の進め方は、第3条・競技者に基づき行われる（下記に示される場合を除く）。
- 「脳振盪による交代」は、次により行うことができる。
 - 脳振盪を受傷した、または、その疑いが生じた直後に
 - 最初にフィールド上での3分間の診断を行った後、またはフィールド外での診断後に
 - （競技者が、その時より前に診断を受け、競技のフィールドに戻った場合を含め）それ以外で脳振盪を受傷した、または疑われるときはいつでも
- チームが「脳振盪による交代」を行うこととした場合、できることならば、異なる色の交代カード/様式を用いて主審/第4の審判員に知らせる。
- 受傷した競技者は、その後、どのような場合でも試合に出場することができない（ペナルティーマークからのキックを含む）。また、できる限り、更衣室や医療施設に関係者に付き添われて行かなければならない。

□交代の回数

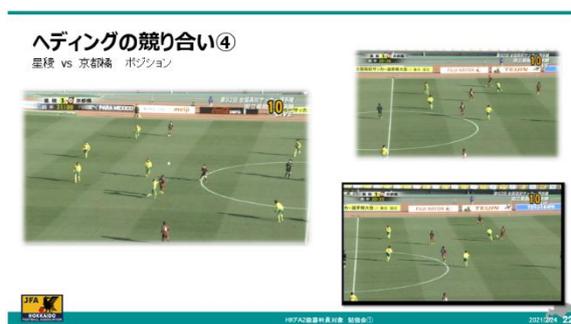
- 「脳振盪による交代」は、「通常の」交代の回数の制限とは別に取り扱われる。
- しかしながら、チームが「脳振盪による交代」を「通常の」交代に合わせて行った場合、1回の「通常の」交代としてカウントされる。

◇HKFA2 級審判員勉強会

2 級審判の皆様に、更新講習会やリフレッシュ研修会とは別に、一つのテーマの下、その考え方を共有し、レフェリングに活かしていくことを目的に、自由参加で実施していました。

① referee-mind & ヘディングの競り合い

1/25 道北 9 名、1/27 道東 16 名、1/28 道南 13 名、2/1 道央 11 名、2/2 札幌 12 名



② 反スポーツ的行為(攻撃のチャンスに関する場面を妨害、阻止したときの懲戒の考え方)

2/15 道東 12 名、2/16 道南 13 名、2/17 道央 10 名、2/18 道北 7 名、2/22 札幌 13 名

反スポーツ的行為に対する警告

場面
大きなチャンスとなる攻撃を阻止 決定的な得点の機会阻止 / 得点阻止

SPA Stopping Promising Attack	<p>考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 反則とゴールとの距離 ✓ 全体的なプレーの方向 ✓ ボールをキープできる、または、コントロールできる可能性 ✓ 守備側競技者の位置と数 	DOGSO Denying an Obvious Goal-Scoring Opportunity	DOG Denying an Obvious Goal
-----------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

その反則がなければ次の数秒で攻撃が発展する可能性があるか
 ✓ 選手の意図
 ✓ 攻撃側競技者の位置と数

欠けるあり 全て該当



<その他情報>

◇ 2020 年女子 1 級認定審査

合格者 3 名 北海道 稲葉里美、 三重 岩本毬花、 沖縄 山内恵美